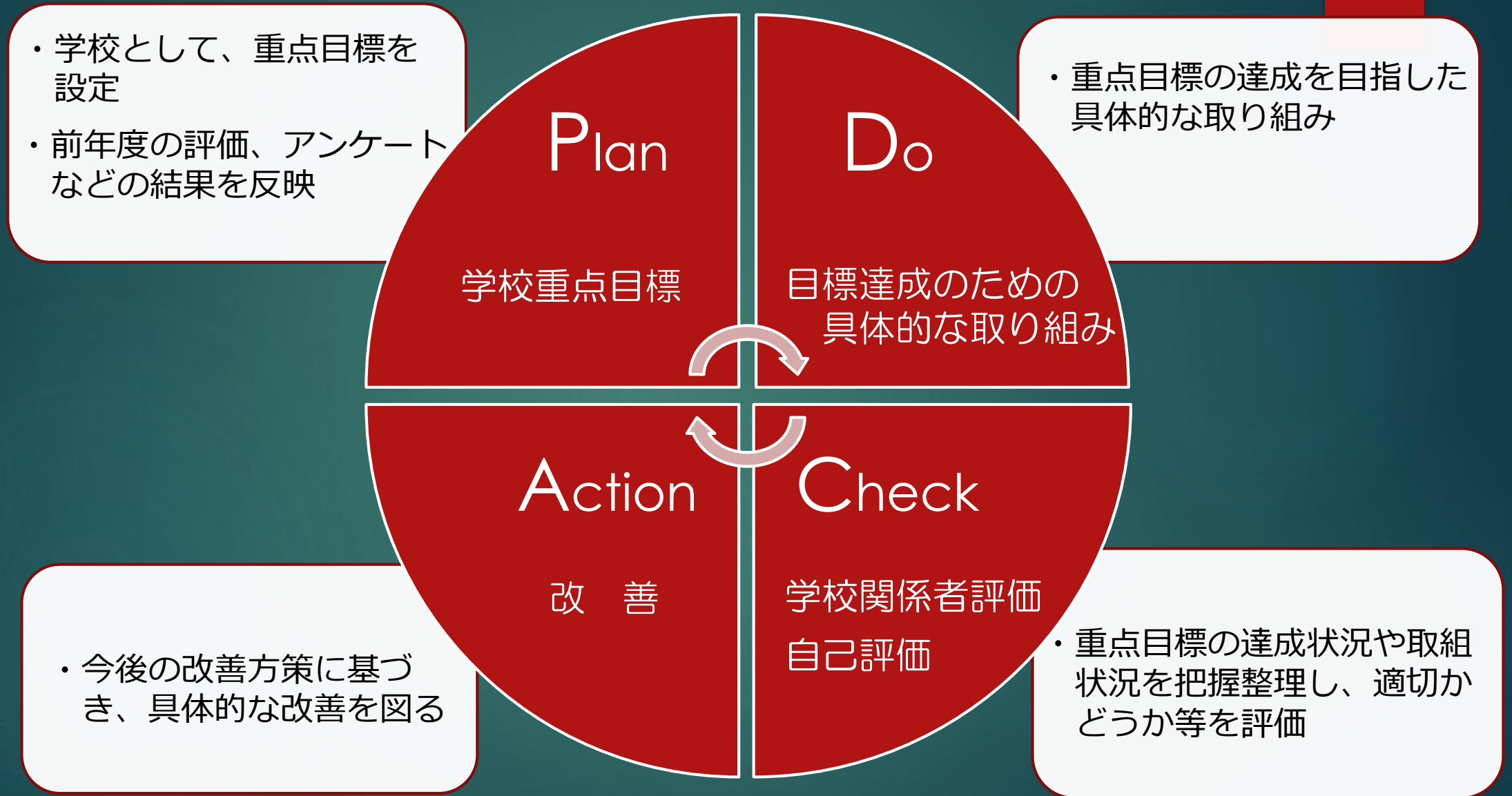




学校評価集計結果 について

令和4年（2022年）5月25日 学校運営協議会

学校評価の実施について <改善サイクル>



<今年度の学校評価の流れ>

●学校評価アンケート

1 2月～ 職員配布
保護者配布

集 計

1 月 職員会議で集計結果報告
2月 学校運営協議会で報告、意見集約
第三者評価

学校運営協議会
第三者評価

3月 道教委へ学校評価報告

●年度末反省

1 2月～ 各学部、校務分掌、委員会等で反省

1 月 他学部や他
分掌との協議や調整が必要な部分のみを
提案。

2月～各学部、校務分掌、委員会で課題解決
と、次年度の方向性を検討

2月職員会議で方向性を確認

回答、報告

3月 職員会議で新年度計画提案

昨年度の学校評価について

- 教職員の評価項目は、学習指導や授業の改善及び組織運営の改善に向けた内容とした。
- 本校のグランドデザインに基づいた評価内容とした。
- 保護者への評価項目は、負担を少なくするため、項目数を少なくして全体的な評価ができるような内容とした。

教職員 自己評価結果

(各学部と寄宿舍の満足度の割合)

[illegible]

質 問			A	B	C	D	無回答	A+Bの割合										
6	学校教育目標のもと教育課程を編成し、個別の指導計画を立てて教育活動を行っている。	全	31	63	4	0	1	94.9%										
		小	31	66	3	0	0	97.0%										
		中	38	58	4	0	0	96.0%										
		高	25	66	6	0	3	91.0%										
		舎																
7	各教科等の教育目標や内容の相互関連、系統性を意識して日々授業を行っている	全	32	55	12	0	1	87.0%										
		小	40	57	3	0	0	97.0%										
		中	23	62	15	0	0	85%										
		高	31	47	19	0	3	78.0%										
		舎																
8	児童生徒の障がいの特性や程度、発達の状況等をよく理解し、適切な目標を設定している。	全	36	56	5	2	0	92.9%										
		小	46	51	3	0	0	97.0%										
		中	23	69	4	4	0	92.0%										
		高	25	59	13	3	0	84.0%										
		舎	59	41	0	0	0	100.0%										
9	個別の指導計画（生活のしおり）を基に学習指導・生活指導を計画している	全	33	64	4	0	0	96.0%										
		小	34	63	3	0	0	97.0%										
		中	31	62	8	0	0	92.1%										
		高	16	81	3	0	0	97.0%										
		舎	65	35	0	0	0	100.0%										
10	学校教育目標や学部・寄宿舎の重点目標を意識して計画を立て、授業や行事に取り組んでいる。	全	27	69	4	0	0	96.0%										
		小	29	69	3	0	0	97.0%										
		中	19	77	4	0	0	96.0%										
		高	25	69	6	0	0	94.0%										
		舎	41	59	0	0	0	100.0%										

質 問			A	B	C	D	無回答	A+Bの割合										
11	児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、教材教具や授業の進め方の工夫を行っている。	全	38	57	5	0	0	95.0%										
		小	43	54	3	0	0	97.0%										
		中	35	62	4	0	0	96.0%										
		高	34	56	9	0	0	90.9%										
		舎																
12	「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」とのつながりを意識して目標を立てている。	全	44	52	3	0	1	96.0%										
		小	63	37	0	0	0	100.0%										
		中	35	62	4	0	0	96%										
		高	31	59	6	0	3	90.9%										
		舎																
13	児童生徒の障がいの状態及び発達段階に適した学習集団を考えて指導している。	全	38	56	5	0	1	94.0%										
		小	46	49	6	0	0	94.1%										
		中	42	54	4	0	0	96.0%										
		高	25	66	6	0	3	91.0%										
		舎																
14	教育課程の実施にあたり、ICTを効果的に活用し、授業改善している。	全	26	61	11	0	1	87.9%										
		小	37	49	11	0	3	86.0%										
		中	19	77	4	0	0	96.0%										
		高	19	63	16	0	3	81.2%										
		舎																
15	やむを得ず欠席となる児童生徒への学びの保障を工夫したりしている。	全	15	54	17	3	10	69.7%										
		小	23	49	14	0	14	72.0%										
		中	8	65	15	8	0	76.0%										
		高	13	50	22	3	13	62.4%										
		舎																

[illegible]

質 問			A	B	C	D	無回答	A+Bの割合										
21	互いに協力し合い、チームとして日々の教育活動の推進に当たり、効果的・効率的な運営を行っている。	全	33	54	9	3	1	87.0%										
		小	37	49	9	0	0	90.5%										
		中	35	58	8	0	0	92.1%										
		高	13	63	19	3	3	75.2%										
		舎	65	35	0	0	0	100%										
22	学校は施設・設備の使用や管理及び予算の計画・執行を適正に行っている。	全	34	58	8	1	0	91.1%										
		小	34	63	3	0	0	97.0%										
		中	23	62	15	0	0	85%										
		高	22	69	6	3	0	91.0%										
		舎	53	35	12	0	0	88.0%										
23	教育公務員（公務員）としての服務適正を期している。	全	54	42	3	0	1	96.0%										
		小	54	43	3	0	0	97.0%										
		中	50	50	0	0	0	100.0%										
		高	44	50	6	0	0	94.0%										
		舎	76	24	0	0	0	100.0%										
24	年度の変わり目などに、一人一人の指導目標や手立て等の引継ぎを充分に行っている。	全	29	64	6	0	0	93.9%										
		小	37	54	6	0	0	93.8%										
		中	19	73	8	0	0	92.0%										
		高	16	75	9	0	0	91.0%										
		舎	53	47	0	0	0	100.0%										
25	専門性を高めるため等、自分にとって必要な研修を主体的に行うことができた。	全	21	57	19	3	0	78.0%										
		小	26	60	14	0	0	86.0%										
		中	12	69	19	0	0	81.0%										
		高	19	44	28	9	0	63.0%										
		舎	29	59	12	0	0	88.0%										

質 問			A	B	C	D	無回答	A+Bの割合								
26	児童生徒の健康安全に関わって、感染症対策、事故防止等についての取組が適切に行われている。	全	48	47	5	0	0	95.0%								
		小	51	40	9	0	0	91.0%								
		中	42	54	4	0	0	96.0%								
		高	31	63	6	0	0	94.0%								
		舎	82	18	0	0	0	100%								
27	学校、寄宿舎の備品や消耗品について、点検や整頓などを定期的に行っている	全	47	50	3	0	0	97.0%								
		小	51	46	3	0	0	97.0%								
		中	38	62	0	0	0	100%								
		高	38	56	6	0	0	94.0%								
		舎	71	29	0	0	0	100.0%								
28	保護者に対して、わかりやすい説明をするなど、丁寧な対応を心がけている。	全	51	44	5	0	0	95.0%								
		小	57	43	0	0	0	100.0%								
		中	38	46	15	0	0	84.8%								
		高	34	59	6	0	0	93.9%								
		舎	76	24	0	0	0	100.0%								
29	学校は、児童生徒の学習の様子や学校の取組を、保護者や地域にわかりやすく積極的に伝えている。	全	33	61	6	0	0	94.0%								
		小	34	60	6	0	0	94.0%								
		中	27	65	8	0	0	92.0%								
		高	25	69	6	0	0	94.0%								
		舎	53	41	6	0	0	94.0%								
30	必要に応じて医療や福祉などの関係機関と情報共有などを行い、連携して支援を行っている。	全	35	63	2	1	0	97.0%								
		小	26	74	0	0	0	100.0%								
		中	38	58	4	0	0	96.0%								
		高	31	66	0	3	0	97.0%								
		舎	53	41	6	0	0	94.0%								

質 問			A	B	C	D	無回答	A+Bの割合
31	学校は地域の教育関係機関等への情報発信と連携を行い、地域の特別支援教育のセンター的機能を充分果たしている。	全	28	67	3	1	1	95.0%
		小	29	71	0	0	0	100.0%
		中	31	62	8	0	0	92.1%
		高	25	66	3	3	3	91.0%
		舎						

<全学部ではないが、全体的に満足度が低かった項目>

7	各教科等の教育目標や内容の相互関連、系統性を意識して日々授業を行っている	全	32	55	12	0	1	87.0%	
		小	40	57	3	0	0	97.0%	
		中	23	62	15	0	0	85%	
		高	31	47	19	0	3	78.0%	
		舎							

- ★「6番：学校教育目標のもと、教育課程を編成し、個別の指導計画をたてて指導している」
- 「10番：学校教育目標や重点目標意識して指導計画を立てて取り組んでいる」「12番：個別の教育支援計画と個別の指導計画とのつながりを意識して目標を立てている」といった項目に関しては、高く評価されている。
- 今年度個別の指導計画の様式を変えたことや、新学習指導要領や教育課程に関わる学習会を昨年度から実施してきていることも評価に繋がっていると考えられる。
- 個々への指導に関しては充実してきているが、各教科等における関連性や系統性となると、難しさがあると思われる。

評価を受けた、今年度の取り組みについて（一部）

- ・ 全校研究の充実（研究、教務、情報との連携）
- ・ やむを得ず欠席する児童生徒への学びの保証について
- ・ 効果的なICT活用の検討、実践
- ・ 教職員の働き方改革の推進

今年度の学校評価について

- ★項目内容の見直し

- ～より、教育課程や学校運営に反映できるように

- ★評価時期の見直し

- ～次年度に向けた検討をしっかりとできるように